

地域連携等による 人材還流・人材育成のヒントを探る！ ～北海道の農業分野の先進事例に学ぶ～

地域の持続的発展のために人材の還流や育成をともに進めようという、自治体間、地域間の新たな連携を探る取り組みが始まっています。

現在、都市・地方を問わず、深刻な人手不足となっていますが、農業や旅館業、福祉産業といった、労働環境が厳しいイメージをもたれている業種では、今後少子化・人口減少が進む中で、ますます人材の確保が難しくなっていくことが予想されます。

一昨年、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部は「地域連携等による地方就労・自立支援」のスキームを示し、弘前市、泉佐野市、加賀市、浜田市等の自治体では、相互に連携した人材育成・就労支援の取組が始まっています。地域で埋もれている女性、若者、障がい者等の人材を、他方の地域でのインターンシップ等を通じてマッチング・戦力化することで人材を還流させ、地域の課題解決につなげる事例が生まれています。

今回の情報交換会では、我が国の食を支える北海道の農業での人材の問題を取り上げます。農福連携の取組み、生産活動と人材育成・キャリア形成とを結びつけた取組等の先進事例を通じて、地域を持続的に発展させるための人材還流・人材育成、自治体間・地域間の新たな連携を進めるためのヒントを探って参ります。

地方創生、農業、福祉等に関わる地方自治体や地域団体等の関係者の皆様のご参加をお待ちしております。乞うご期待!!!

2018.

3.23 (金)

13:30～17:00

会場：

TKP 札幌ビジネスセンター

赤れんが前 5階

チューリップ

※詳細は裏面参照

13:30

主催者挨拶

13:35

◆基調講演

「人口減少時代の北海道の課題は何か？」

山崎史郎氏（北海道顧問、前内閣官房地方創生総括官）

<休憩>

14:30

◆農業分野における人材戦略

今、問われていること!?

～取り組み事例や構想からヒントを探る～

- ・若者支援から農福連携への取組み（北海道月形町）
- ・雇用就農者の確保・育成構想（北海道士幌町）
～「働きながら学ぶ」「学びながら働く」人材育成会社構想～
- ・「居抜き」の農場継承（北海道美深町）
- ・自治体連携による人材還流（大阪・青森）
- ・求人媒体だけに頼らない採用の最前線
～中小企業から地方創生まで～（横アドヴァンテージ）

<休憩>

16:15

◆地方創生の取り組みに関する最新情報

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

16:30

◆北海道の<農>を支える人材・就業者

求められる地域政策は・・・（提案）

横田麦穂氏（一般社団法人北海道総合研究調査会）

穴澤義晴氏（NPO 法人コミュニティワーク研究実践センター）

西岡正次（A'ワーク創造館）

17:00

終了

17:30

交流会

地域連携等による「地方就労・自立支援事業」北海道ブロック情報交換会 参加申込書

■申込み期限：2018年3月16日（金）

■申込み方法：申込書を問合せ先にFAXか郵送していただくか、
ホームページ（<http://lg-plat.jp/>）よりお申込みください。

【会場】TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前 5階 チューリップ

〒060-0004 北海道札幌市中央区
北4条西6丁目1 毎日札幌会館 5階
TEL：011-798-4763

【問合せ先】

■自治体連携推進会議事務局
〒556-0027 大阪市浪速区木津川2丁目3番8号
A'ワーク創造館内 担当：西岡、前田
TEL:06-6562-0410 FAX:06-6562-1549
E-mail：plat@adash.or.jp

■一般社団法人北海道総合研究調査会・調査部
〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目1
TEL:011-222-3669 担当：切通、横田



【アクセス】

- 札幌市営地下鉄 南北線「さっぽろ駅」 10番出口 徒歩2分
- JR 函館本線 札幌駅 南口 徒歩5分
- 札幌市営地下鉄 南北線 東豊線 東西線「大通駅」 徒歩11分

自治体連携推進会議事務局：FAX 06-6562-1549

氏名	(ふりがな)	所属・職名
連絡先	住所 〒	
	TEL	FAX
	E-mail	
参加区分 (○で囲ってください)	行政担当者 [農業／福祉／地方創生／その他 ()]	
	民間団体 大学・研究機関 [農業関係／福祉関係／地方創生関係／その他 ()]	
	個人 [農業関係／福祉関係／研究者／学生／その他 ()]	
交流会 (会費 5000 円) 定員 20 名	※領収書が必要な場合の宛名	
	不参加	参加 → ()